

資料 3 女性活躍推進に係る消防本部の取組

女性の受験者及び採用者増加に向けて実施した活動

N=722消防本部、複数選択可

活動内容	消防本部数	構成比
消防本部主催のインターンシップの実施	163	22.6%
上記のうち、女性向けのイベントを設けて実施	48	6.6%
民間主催の就職情報イベント（合同説明会、職業体験会等）に参加	211	29.2%
各種学校（高等学校、大学等）に訪問し、就職担当者や学生等に受験案内を実施	433	60.0%
女性向け採用情報を掲載したホームページの作成	141	19.5%
女性消防吏員PR動画の制作	80	11.1%
女性向けパンフレット、ポスターの作成	135	18.7%
育児休業期間や女性向け施設の整備状況など、福利厚生面等の周知	190	26.3%
その他	145	20.1%

上記の活動のうち、効果があったと思われる事例（抜粋）

【イベント関係】

- ・ 専門学校が主催したWEB就職説明会への参加
- ・ 地元ラジオ局のラジオで女性消防吏員募集の案内を周知
- ・ 高校生や救命士を目指す女子学生を対象とした女性活躍推進研修会を開催
- ・ 県内の消防本部を消防学校に集め、消防志望の学生へ向けた消防就職説明会を開催
- ・ 高等学校が実施した職業説明会への参加
- ・ 自衛隊、警察との合同説明会を開催

【WEB・SNS等】

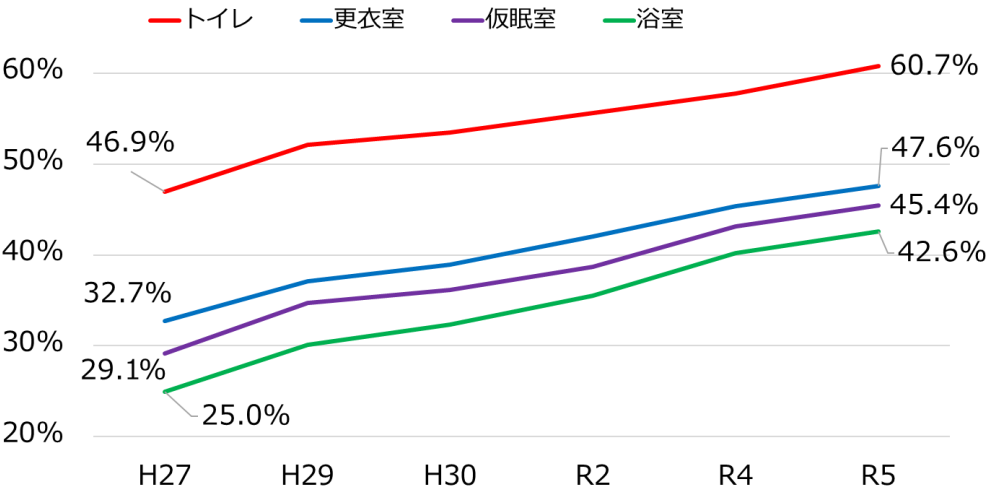
- ・ 女性消防吏員をモデルに起用したWEB広告を実施
- ・ 職員募集動画をYouTubeに掲載
- ・ 医療、福祉に関する地域情報誌に女性消防吏員を起用し、存在や活躍を周知
- ・ 新聞紙面や組合内の広報誌に職場環境や訓練風景を掲載
- ・ WEBによる女性限定の就職説明会を開催

【その他】

- ・ インターンシップ受入れ（救命士同乗実習）
- ・ 体力試験等のハードルを下げ、女性も受験しやすい人物重視の採用試験を実施
- ・ 構成市町村の保育所関係施設へ「女性消防士絵本」を配布
- ・ 女性消防吏員活躍推進ラッピングバスの運行

整備状況等

- 次長通知（平成27年 7 月）及び消防・救急課長通知（令和 6 年 3 月）を発出し、女性専用施設の整備を積極的に取り組むよう要請
- 地方財政措置（特別交付税、緊急防災・減災事業債、防災対策事業債及び公共施設等適正管理推進事業債）の活用
➡ 女性専用施設の整備は進んでいる（整備率は本部庁舎や消防署で高く、出張所等で低い）
- 女性消防吏員がいない消防本部が、新たに女性専用施設を整備し積極的に P R したところ、女性消防吏員の採用につながった事例もある



※ H28、R元及びR3は、女性専用施設の現況調査を実施していない。

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

	トイレ	更衣室	仮眠室	浴室
全体 (5,676)	3,448 60.7%	2,703 47.6%	2,577 45.4%	2,416 42.6%
本部庁舎 (722)	692 95.8%	630 87.3%	466 64.5%	432 59.8%
消防署 (1,714)	1,439 84.0%	1,224 71.4%	1,212 70.7%	1,158 67.6%
出張所 (3,093)	1,199 38.8%	757 24.5%	830 26.8%	744 24.1%
その他庁舎 (147)	118 80.3%	92 62.6%	69 46.9%	82 55.8%

※ その他庁舎：消防学校、ヘリポート、通信指令センターなど